

5月1日(木曜日) モリメイトフィールド周辺と花菖蒲園の草刈り

【参加者：池本、浦野、越智宏、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、濱田、森浜牧

9名】



5月に入り、モリメイトフィールドの草も勢いを増してきたので、刈払機チームはそれぞれの場所に散らばり草刈りを始めた。新緑の香りが漂う5月の森にエンジン音が響いていた。

花菖蒲園チームは、花菖蒲を覆っていた草を刈ることにした。花菖蒲を傷つけるといけないので刈払機は使えない。手鎌で腰をかがめながらの地道な作業である。花菖蒲園の半分ぐらいを刈ることができたので残りは来週にまわすことにした。

園内の各所でガマズミの花が満開



5月8日(木曜日) 花菖蒲園と周辺の整備

【参加者：越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、森浜牧

8名】

花菖蒲を獣害から守るための布製の網が破れて垂れ下がり、傷んでいたのので、田んぼをやめた農家さんからいただいて保管してあった金網を使うことにした。布製の網をすべて取り外し、金網を結束バンドで支柱に止めていった。花菖蒲もよく見え、すっきりと綺麗な花菖蒲園になった。

刈り残してあった花菖蒲園の草刈りを行った。例年6月の10日ごろから咲き始めるが、一面を薄紫色に染め、モリメイトフィールドを華やかにしてくれる日が楽しみである。



咲くのが待ち遠しいな



5月 15 日(木曜日)モリメイトフィールド周辺の整備

【参加者;池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、森浜牧、中

計 11 名】



キバネツノトンボが飛んでいるという情報を聞きつけ、サギソウ園の南側の草原へ。4～5匹、草の茎にとまったり飛び交ったりしているところに運よく出会うことができた。

キバネツノトンボはトンボと呼ぶがトンボの仲間ではなくウスバカゲロウの仲間だそうである。体長は22mm～25mm、全身が鮮やかな黄色と黒のツートンカラーで胴体はチョウやトンボと比べ太く短く、頭から腹まで真っ黒でモフモフの毛で覆われ、脚は黄色に黒いソックスを履いているみたいである。

絶滅の危機に瀕している虫とされている。



花菖蒲園を流れる水路と周りの水路の掃除をした。草をぬき、泥を取り除き、泥んこになっての作業であった。流れにくくなっていた水が流れ出し、心地良い水音に癒されたひと時であった。

5月 22 日(木曜日)モリメイト会議

【参加者;池本、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、濱田

計 8 名】

◎モリメイトの活動（モリメイトの活動範囲、安全対策、モリメイトフィールドへの移動、道具の使用等）について、モリメイトと事務所で確認し合う。

◎森林ボランティア活動支援事業助成申請書の検討

5月 29 日(木曜日) それぞれに分かれて作業

【参加者;池本、浦野、越智宏、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、濱田、森浜牧

計10名】

モリメイトテラスのベンチを新しく作り変えた。座り心地のいい椅子が完成



5月の初めに綺麗に刈った草がもう20～30cmも伸びてきたのでもう一度草刈りをした。チラホラ花菖蒲の蕾が出始めていた。



それぞれのクヌギの森の植樹地に分かれて刈払機で草刈りをした。



観察広場の朴木の枝先に白い大きな花が上向きに咲いていた。

